



福山から世界に広がる
デニムのものがたり

今月号の主な内容

特集

デニムと言えば福山じゃろう！
今月のイチオシ P 1

市の財政状況

かかりつけ医って何だろっ？

大型イベントの紹介

福山市総合防災訓練

(全市一斉)

広がる地域のまちづくり

福山未来共創塾 ほか

なくそう！子どもへの虐待

暮らしの情報

文化施設

催し・講座

募集・お知らせ

健康・医療

相談

福祉

歴史散歩

童謡と中条 愛唱歌誕生秘話 P 19

いきいきシニア

認知症予防で P 20

いつまでも元気に ほか

ふくやまニュース

福山版図柄入りナンバプレート P 21

交付記念セレモニー ほか

ネウボラ通信

「福山市ファミリーサポート・ P 22

センター事業」の紹介、保育所

(園)等入所申し込み ほか

プレゼント付き読者アンケート

つながる備後圏域

福山ブランド

広報「ふくやま」
電子版



デニムと言えは 福山じゃろう!

スペシャルインタビュー

本市がデニムの一大生産地であることを知っていますか。紡績・染色・織布・加工などの工程を担う企業が集積し、そこで生産されるデニムが国内外のファッションシーンを支えています。今回は「ものづくりのまち・福山」を代表するデニム産業の発展やこだわりについて紹介します。

産業振興課 ☎928-1039



世界が目指すメイド・イン・ジャパン
なぜメイド・イン・ジャパンのデニムが選ばれるのか。それは「品質」にこだわっているからに他なりません。海外でもデニムは作られています、同じ品番でも色や織布の精度にバラつきがあることも。しかしメイド・イン・ジャパンのデニムは、各工程を担う企業が常に「品質」を重視してものづくりを取り組むことで、オーダー通りの仕上がりや安定的に供給しています。これこそがメイド・イン・ジャパンの強みといえます。



ものづくりの情熱をもって デニムの可能性に挑戦
福山のデニム関連企業の多くは備後編を背景にもち、100年以上の歴史をもつ企業もあります。その伝統を守る一方で、世の中のニーズに応える新たなものづくりにも積極的に取り組み、デニムの可能性を広げ続けています。



トピックス!
生地の産地だからできる! 福山デニムを使ったこんな製品も

近年はデニムの可能性を追求し、「ものづくりのまち・福山」の技術を生かしたデニム製品が続々と誕生。衣料品をはじめ、雑貨やインテリア関連など、さまざまなジャンルに広がっています。



1.織られる前のインディゴ染めされたタテ糸 2.織り機にセットする前のヨコ糸の準備 3.タテ糸にヨコ糸を打ち込みデニムに織り上げていく 4.織り上がったデニムは全て目視で検査

メイド・イン・ジャパンのデニムをものづくりのまち・福山から世界へ

話を聞きました!
広島県織物構造改善工業組合 理事長 篠原 由訓さん (篠原テキスタイル 株式会社代表取締役社長)

話を聞きました!
篠原 由起さん (篠原テキスタイル 株式会社 新事業開発リーダー)

本市がデニム生産の集積地となった理由は?
江戸時代から綿の栽培や製織、染色が盛んだった福山。江戸時代後期には日本三大緋の二備後緋が生まりました。ここで培われた厚手生地織布技術や藍染めなどの染色技術が、デニムの産地として発展する背景になりました。

なぜデニムは色落ちするの?
デニムのタテ糸は表面だけインディゴで染めているため、中の芯は白い糸のままです。色落ちとは、摩擦や脱色によって生地の表面のインディゴが剥がれることで、中の白い部分が表に出てくること。それがデニム最大の魅力でもあります。





「初めての山登り」
写真部門 最優秀賞作品

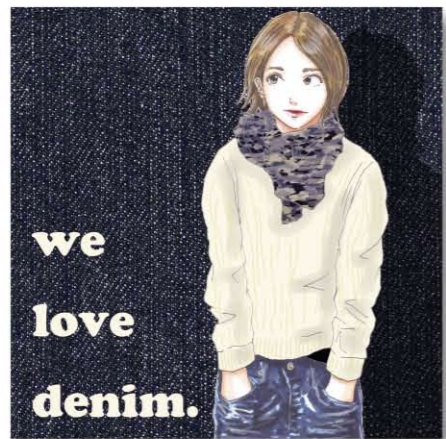
11/1(木)~1/11(金)

備中備後ジャパンデニムプロジェクトとは
国産デニムの産地とされる備中地域(井原市などの岡山県西部)と備後地域(福山市などの広島県東部)の行政・デニム関連企業が連携し、国産デニムの産地を盛り上げるために取り組んでいるプロジェクトです。

前年度の受賞作品



「親子デニム」
写真部門 優秀賞作品



「we love denim」
イラスト部門 最優秀賞作品



「2人を結ぶ青い糸」
イラスト部門 優秀賞作品

デニム愛あふれる作品を募集
大好評の備中備後デニムコンテスト
第2回の募集がスタート
今回は写真・イラスト・川柳の3部門で
作品を大募集!

備中備後デニムコンテスト2018
詳しくは備中備後ジャパンデニムプロジェクト公式HPに掲載
備中備後デニムコンテスト2018 検索

応募方法

- ◆SNS(Twitter・Instagram)
作品のタイトルと応募用ハッシュタグ「#備中備後デニムコンテスト2018」を記載して投稿
- ◆E-mail
メールのタイトルは「コンテスト応募」とし、作品と応募用紙(公式HPに掲載)を添付の上、次のアドレスに提出
提出先: sangyou-shinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
- ◆郵送・持参
CDまたはDVDに作品と応募用紙を保存し、次の宛先に提出
※郵送の場合は消印有効
提出先:〒720-8501 市役所本庁舎内 産業振興課

全部門共通の応募要件・規格の概要

- ◆必ず募集要領(公式HPに掲載)の内容を了承した上で応募してください
- ◆1人何点でも応募できます。ただし自作かつ未発表のものに限ります
- ◆応募作品の肖像権や著作権については、応募者の責任において承諾を得てください
- ◆受賞作品の著作権は福山市に帰属します
- ◆作品の大きさや色彩、表現方法は自由です(公序良俗に反しない範囲でお願いします)

受賞作品発表
来年3月中に公式HPなどで発表します

最優秀賞受賞者3人に副賞としてデニム生地をプレゼント!

〈部門紹介〉

<p>写真部門</p> <p>「デニムっていいな」と思える写真デニムを着用した人物やデニムがある風景、こだわりのMyデニムなどの写真</p> <p>最優秀賞1点 5万円 優秀賞5点 1万円</p>	<p>イラスト部門</p> <p>公式HP掲載のデニムの画像を参考または活用したオリジナルイラスト</p> <p>最優秀賞1点 5万円 優秀賞5点 1万円</p>	<p>川柳部門</p> <p>「デニムっていいな」と思える川柳デニムを身近に感じる一句やデニムを楽しんでいる様子を詠んだ一句</p> <p>最優秀賞1点 1万円 優秀賞15点 5千円</p>
---	--	--

もっと身近にデニムを 楽しみませんか?

11/1(木)からデニム製品着用期間やコンテストの募集がスタート! 問産業振興課 ☎928-1039

いい藍(あい)の日
福山伝統の染色技術やデニムの藍色の語呂合わせ

NOデニム NOライフ
いつだってデニムです
デニム、大好きです

11/1(木)~12/26(水)

2017年度に参加した企業に話を聞きました!

株式会社キャスト
本市に拠点をもつ金属部品の総合メーカー。2016年に新たな制服を作るプロジェクトがスタート。公募でデザインを募集した結果、福山のデニムを使い、福山の縫製会社が手掛けた制服が今年10月1日に完成。

制服をデニムに新!
社員のモチベーションが
上がっています

デニム製品着用期間に参加した理由は?
A 当時はまだ新たな制服が完成していませんでしたが、制服のリニューアルプロジェクトの一環としてデニム製品着用期間に参加。全社員がデニムを着用して仕事をしました。
Q デニム製品着用期間にどうですか?
A メイド・イン・福山の世界にのめり込んでいるのですね。このように、ものづくりへの思いにも通じています。

「もっとよい制服になるよう改良・改善を重ねます」と経営管理部主任の田村晃宏さん(左)と広報副主任の桑田沙登美さん

「デニムは使い勝手がよく、作業の生地としても優秀です。デニムを着用すれば、それが福山で作られていることにも誇りがもてるはずです。」

「最後に一言!」
A デニムは使い勝手がよく、作業の生地としても優秀です。デニムを着用すれば、それが福山で作られていることにも誇りがもてるはずです。

「デニムっていいな」と思える川柳デニムを身近に感じる一句やデニムを楽しんでいる様子を詠んだ一句

デニム製品を着用して業務を行う企業を大募集!

ジーンズやデニムシャツなどを着用して「デニムの産地福山」を一緒に発信しませんか?
着用した様子を市公式Facebookなどで紹介します。
問情報発信課 ☎928-1290

参加の流れ

- STEP1 デニム製品を着用して業務
- STEP2 着用した様子を撮影
- STEP3 TwitterやInstagram、Facebookで応募用ハッシュタグ「#福山はデニムの産地」を付けて写真を投稿。もしくはメールで、企業・団体名とデニムを着用した感想・写真を、情報発信課に送付。詳しくは市HPに掲載

昨年参加した企業

CHECK ここでもデニムを制服に使っています!

福山駅観光案内所
職員がデニムのベストを着用して働いています。胸元にはデニムで作成したばらのブローチも!